

2020年

7月14日〔火〕

9月22日〔火・祝〕

午前10時～午後6時(午後5時30分まで受付)

〔休館日〕月曜日(ただし祝日の場合は翌日)

〈會津八一記念館〉開館45周年記念

新 収蔵品展

新たな発見

新潟市會津八一記念館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 メディアシップ5階

☎025-282-7612 <https://aizuyaichi.or.jp>

〔観覧料〕一般500円、大学生300円、

高校生200円、小・中学生100円

※団体20名以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

〔主催〕新潟市會津八一記念館 〔共催〕新潟日報社 〔後援〕BSN新潟放送
〔協力企業〕浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造



會津八一書画《双魚園・江南可采蓮》



會津八一書《意適》



會津八一

龍安寺

會津八一

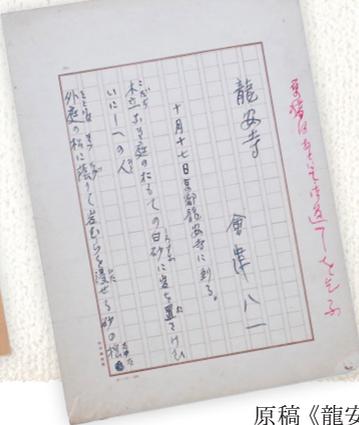
入館割引券
●本券持参で収蔵品展で2割引させていただきます
●他の割引との併用不可
2020.9.22まで有効

初公開

戦前・戦中の雑誌に
発表した八一の短歌の
生原稿



原稿《火鉢》
『月刊毎日』1945年3月号



原稿《龍安寺》
『改造』1941年1月号

會

津八一記念館は1975（昭和50）年4月に開館し、本年が開館45周年にあたります。それを記念して今企画展では、当記念館がこの5年の間に新たに収蔵した會津八一の作品や資料を中心に披露いたします。

今回初公開となるのは、戦前・戦中、八一が雑誌に発表した2作品（京都・龍安寺を詠んだ歌10首、および《火鉢》と題する5首）の直筆原稿と、有恒学舎（現県立有恒高校）創立者の漢学者増村朴齋に宛てた書簡です。とくに《火鉢》を掲載した雑誌『月刊毎日』は、毎日新聞社北京支局が発行していた珍しい雑誌です。

寄贈作品としては昭和女子大学の副学長を務めた故松本昭氏からの八一の墨蹟13点があります。この中には、大和路の風景やみほとけを詠んだ数々の名歌が含まれています。ほかに、義弟のドイツ文学者櫻井天壇の遺族から寄贈された八一の書画や櫻井家宛ての書簡なども展示します。当館コレクションに彩りを添えるこれら新収蔵品をご堪能ください。



1 會津八一書《おほてらの》(松本コレクション 1950～56年) 2 會津八一書《かすかのにおーてる》(松本コレクション 1946～56年) 3 會津八一書《あせたるを》(松本コレクション 1945～56年) 4 會津八一書《湛如藍》(1946～56年) 5 會津八一筆・櫻井安枝宛《人馬図》(1927年8月12日) 6 會津八一書《日々又日々》(1945～56年)

EVENT INFORMATION 関連イベント



作品鑑賞会（野中吟雪館長）

〔日程〕7月21日(火)、8月18日(火)、9月20日(日)
午後2時～約1時間
〔会場〕当館展示室
(企画展入場券が必要です)

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のためやむを得ず入場制限を行う場合があります。

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。

7月14日～8月16日：江川蒼淵先生（新潟県書道協会参事、新潟市） / 8月18日～9月22日：川口夢墨先生（同、長岡市）

作品解説会（学芸員）

〔日程〕会期中の第2、4日曜日
(7月26日、8月9、23日、9月13日)
午前11時～約50分
〔会場〕当館展示室(企画展入場券が必要です)

AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM
新潟市 會津八一記念館

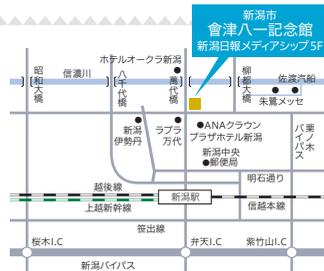
〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614

当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。(階段はございません)

◎交通のご案内 新潟駅から バス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港から タクシー約15分

◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)

※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などございます。



入館割引券
本展覧会でご来館まで
2割引きいたします
●他の割引との併用不可
2020.9.22まで有効